



21西尾

21世紀にける西尾市民会議 〈2012.2.6〉 No.105



No.105

ご覧下さい。ご意見もどうぞのりこのホームページ <http://www.noriko.to/>

消防団への
交付金の
「真実」は??

のりこ & のりゆきの 辛口議会だより



熊さん

「ご隠居さん、見たぜ、見たぜ、吉良消防団の交付金。ありやひでえや!」

ご隠居

「1月13日に公開された22年度決算の帳簿だね。議員が公文書公開請求したのさ。」

熊さん

「支出総額は、2150万円。その内、宴会が630万円、コンパニオン代が350万円に、スナック他での飲み代が350万円だつてよ。驚いたねえ、そんな領収書が山ほどだ。」

ご隠居

「総会費、教養訓練費、消防訓練費、装備管理費などという名目になってはいるんだがね。その実態は宴会費だ。あとは、それ以外の食事代や酒代、タクシー代、他団への差し入れや消耗品、雑費等で800万円だというからねえ。」

熊さん

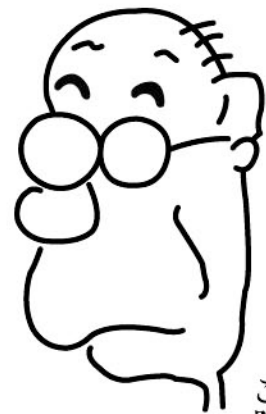
「ちよつと待ってくれよ。交付金は890万円だろ。算数が合わないんじゃないかい?」

ご隠居

「各団員に支給される報酬などを、分団が握っちゃまって、『どんぶり』勘定にしているからだよ。消防団は、『自分たちの金で飲んでる』と言っているが、彼らは、交付金は公費ではなく、自分たちへの報酬だと思っているようだね。」

熊さん

「そりやとんでもない訓練だぜ。公費と私費の区別もつかないんじゃないやねえ。それに、団員への報酬・費用弁償は、個人口座に振込みにしなきゃあ、酒を飲まない団員の分まで、皆でよつてたかつて飲んじまうつてことじゃねえか。」



ご隠居

「そうなんだよ。しかし、吉良町は、まだ領収書が揃っているだけだよ。一色町や幡豆町は『帳簿も領収書もない』というから、ひどいものさ。」

熊さん

「ええ、ありかよ!?! つい1年前の文書だぜ。」

ご隠居

「消防団は『合併してからは、西尾市の基準でちゃんとやっている』というが、もし、そうなら、交付金は、今年の秋の決算では大幅に余ってこなきゃあならん。」

熊さん

「そりやあ、『23年度は予算も減らしてる』といっているけど、実際はどうなんだい。」

ご隠居

「費用弁償は、前年2700万円が1900万円に減っているものの、報酬は増えて、交付金は2000万円から3300万円にまで増えているんだ。」

熊さん

「なんでえ、そりや!?!」

ご隠居

「正月早々『昨年の年末夜警の夜、連日、大勢でイツキ飲みをやっている分団があった。残念だ』という投書が、のりこ議員宛にあったんだよ。」

熊さん

「『飲んでない』ってんじゃないのかよ。」

